



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 24 年 5 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



豊作と大漁を願う祭礼「酒樽がえし」
撮影日：平成 24 年 4 月 2 日（月）

3 月議会の内容

●一般質問 P 2 - 5 ●議案質疑 P 6 ●委員会報告 P 7

平成 24 年第 1 回能登町議会定例会は、3 月 5 日から 16 日までの 12 日間の日程で開催されました。

5 日には、議案 53 件・請願 2 件が上程され、先議された人事案件 3 件は原案のとおり同意されました。その後、議案質疑を経て各常任委員会へ付託されました。12 日・14 日には町政一般質問が行われ、16 日には、議案 50 件と請願 2 件の採決が行われ、原案のとおり可決・採択されました。続いて、発委第 1 号「原子力発電所の安全性確保とエネルギー政策の見直しを求める意見書の提出について」など議会議案 5 件が追加提出され、質疑・討論を経て原案のとおり可決されました。

第28号

質問 ぱん いっ



奥成 壮三郎 議員

問 町長の国県等への要望や企業誘致活動

1年間の町長日程は同盟会や協議会などの会議がほとんどで、地域要望活動としては2回で、企業誘致はなかったと思う。知事室には一度も訪問していない。2万人の町民を思うなら、もっと活発に活動すべきでは。

答 今後も積極的に要望活動を行っていく

町長 4月にクロマルハナバチ事業で農林水産省へ、5月には医師確保で大学関係者へ。今年1月に新町通り線の整備促進や能登半島地震復興基金の運用延長などで知事に要望活動を行った。企業誘致に関しては、昨年度

は行うことが出来なかった。今後も能登町のためということを大前提に積極的に要望活動を行う。

問 学校給食の地場産物の活用率と学べる給食は

能登町内にはブルーベリー・赤崎いちご・寒ぶり・イカ・能登牛、そして鯨など、どこにも負けない食材がある。学校給食における地場産物の活用率は。また、一年をとおして、例えば1月17日の「おむすびの日」など食の記念日を学んだり、地元の食材がどのように生産されたり、漁獲されたりしているかなど学べるような「学べる給食」も大切かと思うが。

答 能登町産の利用率は34%

教育長 能登町産の利用率は34%で県内産全体では約47%を利用している。学べる給食については、食材のいわれや食の大切さなど食育の指導をと

して、子供たちが楽しくおいしく思えるように努力していく。

問 全国学校給食甲子園大会への挑戦は

過去6回開催されている学校給食全国大会では、第1回から3回まで県内給食が全国ベスト12に選ばれている。第5回大会では富山県砺波市給食センターが準優勝に輝いている。能登町も食材的には日本一恵まれていると思うのでチームを編成し能登町を全国発信するのにも必要と考えるが。

答 昨年小木小学校が参加した

教育長 県内では38校が参加し、能登町からは小木小学校が参加した。石川県学校給食料理コンクールでは平成17年に能都中が最優秀賞を、今年度開催の第25回石川県中学校学生給食献立コンクールでは能都中と松波中が努力賞を受賞した。



鶴野 幸一郎 議員

問 クロマルハナバチ施設の新規利用計画

①クロマルハナバチ事業の休止は決算特別委員会の指摘があったからかそれとも次のステップを考慮したものか。

②施設の改修には多額の補助金を投入しているが、休止による返還はあるのか。

③クロマルハナバチ事業のため採用した職員は何名いたか。今後の処遇については。

④施設を再利用できる新規事業を何か考えているのか。

答 新規事業も考慮に入れ情報収集に努めたい

町長 議会からの指摘とは関係なく、国の動きが緩いことや、今後続けていくのも非常に厳しい状況等を考慮し休止とした。補助金については、返還とならないよう充分説明し理解を求めていく。職員は6名いるが、適材適所で配置する。施設等の再利用が可能であれば、新規事業の参入も考慮に入れて情報収集に努めたい。



事業休止となったクロマルハナバチ飼育生産施設



市濱等 議員

**問 地域防災・災害
予防計画について**

東日本大震災から1年。今年も地震が頻繁に起こることが予想される。災害に強い人づくり、自主防災組織の育成、企業防災組織の育成も大切で、防災ボランティアの活動環境整備も必要だ。昨年の防災訓練報告書はあるか。災害に強いまちづくり、海岸施設、がけ崩れ、民間建物耐震化の対応は、能都中学校の避難所受け入れ体制は。防災グッズ入りリュック、家具倒れ防止金具等啓蒙品の配布は出来ないか。

答 防災対策は非常に大切である

町長 東日本、能登半島

地震で防犯対策は非常に大切と考えている。防災意識の啓発を図る。防災ハザードマップを作成中だ。防災士の育成、自主防災組織の組織率向上を目指す。訓練報告書は無いが、地域単位の防災訓練を実施する。津波災害予防の漁港整備は国も検討中だ。県は崖崩れ調査、平成26年までにマップを作成予定だ。民間建物耐震化は所有者で検討。能都中では下水直接排水、備蓄倉庫は整備予定だ。防災グッズは各町内ごとで自主防災組織育成補助事業に盛り込んで欲しい。

問 真脇温泉周辺整備

真脇温泉周辺の整備は長い懸案事項だ。見渡すと千枚田に劣らない観光地だ。聖地巡礼、参拝ウォーク、生物展示等自然が認められ、価値観が問われる里山里海条件が整った。古きを大切に、現代に合った里山里海の再現を期待しているが。

**答 真脇遺跡を利用した
全体計画を策定したい**

町長 縄文真脇温泉はたくさんの方に利用してもらってきた。予算はポーレポーレ周辺に簡易浴場を建設する設計費だ。国指定の真脇遺跡を利用した全体計画を作りたい。



縄文真脇温泉露天風呂



鍛冶谷眞一 議員

**問 地域の灯り。真脇小
学校の閉校から学ぶこと**

旧校名、旧校舎を経て136年の歴史に幕を閉じる真脇小学校の跡地利用について、地区の皆さんと協議したのか。また、地区からの要望はあったのか。5年前、統合反対の経緯を経て閉校となった。この間、地区や学校と話あつていない。知恵も工夫も、そして心もない。

答 地域の方々の交流活動や健康増進に活用を

町長 高倉地区の区長会から昨年12月15日に利用についての要望書が提出されており、地区の真脇遺跡や縄文真脇温泉と連携した活用の模索、要

望や学校開放の継続についてであった。健康増進のために体育館等は大いに利用してもらいたいし、グラウンドも地区の社会体育大会の開催に利用して欲しい。



閉校となった真脇小学校

**問 藤波運動公園の
果たすべき役割は**

平成17年から22年までの過去6年間の資料で、利用人数20万7000人。経済効果総額7億7500万円の実績があり、小中学校、高校の公式試合や各種大会、そして合宿受入れでこれだけの数字を得ている。七尾市と和倉の宿泊施設と組み合わせ、合宿誘致や大会開催に積極的に取り組んでいる。これに対して対応を考えているか。

答 交流人口の拡大のためにも大事な施設

町長 非常に脅威に感じているが、我々はこれまで培ってきたノウハウをしっかり持っており、サービス面でも競技運営に関しても、職員、そして協会の方もサポートしている。そう簡単には取られることはないと思っている。



志幸松栄 議員

問 庁舎問題について

分庁方式の解消について、特に議会事務局を能都庁舎に移すことを質す。

答 分庁方式を解消した方が良く考えている

町長 分庁方式の解消については、長期的な維持管理コスト削減や行財政改革の推進、町民の利便性、旧町村の垣根を越えた一体感の醸成、協働のまちづくりの推進等の観点から判断すると、多種多様な行政需要に柔軟に対応でき、かつ合理的でスリムな行政を実現するために分庁方式を解消した方が良く考えている。

問 能登町として本年度進むべき道

能登町の総生産について、遊休土地問題、新港田の浦、宇出津中心街の賑わい創出について。

答 町の活性化に繋がるように判断していきたい

町長 町の総生産については算出されていない。町有地の遊休地については、今後も売却に積極的に取り組んでいきたい。新港に関しては、海に面した好条件の用地でもあり、水産業を初めとしてより多い利用によって賑わいが出来るものと思っている。

今後については、充分検討し町の活性化に繋がるように判断していきたいと考えている。

問 輪島市のガレキ処理受入について

ガレキに放射能があれば、例えば能登の里山里海を殺すことになり風評被害が増加する。特に農林水産物の価格の下落に繋がらないか。また、能登全体で考える場はないのか。

答 受入体制は整っていないのが現状

町長 ガレキの受入に関して、当町には焼却施設がない。また、埋立処理施設に関しても最大可能容量に近いために、現時点ではガレキの受入体制が整っていないのが現状であると考えている。



大谷内義一 議員

問 議員各位からの町の振興策の提案

議員から町の発展を願って町の振興について多く提案されている。いかに良い提案であっても執行部が耳を傾け、実行しないとただの空論のやりとりになかならない。

答 町の振興についての提言は誠意を持って取り組んでいる

町長 議員各位からの提案を緊急性、財源措置等を考慮しながら、できるだけ事業に取り入れ実施している。また公共投資と福祉サービスのバランスも考えながら持木カラーは見えにくいかもしれないが、町政全般を限られた財政の中、一歩一歩進めたいと考えている。

問 合併協定書の意義を問う

合併協定書が無視するような話を耳にする。3町村は合併協定書の内容を理解し、合併に同意した。その合併協定書作成の最高責任者は持木町長であり、誰が何と言おうとも町長は責任をもって実行すべきだ。

答 協定書やそれに基づく建設計画を進めている

町長 平成15年1月協定書作成委員会が作成した協定書には法的に拘束力はないが、計画を実行するよう最大限努力することが求められている。議員指摘の提案をしかと受け止めさせてもらう。

問 能登高校の現況と今後の対策

能登高校は今年をはじめ卒業生を送った。就職・進学状況は。また、能登高校への今年の入学者数の内訳はどうなっているか。このままだと能登町から高校がなくなるのではないかと考えるが町長の考えは。

答 能登高校の現況と今後の対策

教育長 今回の卒業生で、進学予定者は42名。就職内定者は44名で、そのうち31名が奥能登の企業に内定した。町内中学校卒業生全体で146名のうち53名が能登高校を受験した。

町長 現在も1000万円円の助成をして応援体制を取っているが、一層の努力をする。町唯一の高校であり、何が何でも廃校にすることはできない。議員各位・町民のご理解とご協力をお願いしたい。





酒元法子 議員

問 高齢世帯・高齢独居者の緊急避難対策

当町のような過疎化・高齢化が著しい地域において、高齢世帯、高齢独居者の緊急避難対策が重要と考えられるが町長の考えを問う。

答 能登町災害時要援護者支援プラン作成など

町長 災害時の避難対策に関して、高齢化の進む当町において、早急な対応が必要と考えている。昨年度に能登町災害時要援護者支援プランを作成している。そして今年度は要援護者のリストを作成中である。万一、避難勧告等が出された場合に備え、避難行動に援護を要する人を事前に把握

し、避難勧告等発令時には防災、消防、福祉部局が情報を共有し、地域住民の方と協力しながら、円滑な避難行動に移れるように考えている。

【災害時要援護者支援プラン】
災害時避難勧告等が発令され、避難行動に移る際、支援が必要な人を事前に把握し、円滑な避難行動が取れるよう支援体制を確立することを目的として作成された計画。

問 消防救急機能の整備のスピード感を持った対応

前回、消防救急機能の整備について質問したが、海岸沿岸部はもとより山間部における消防、救急機能の整備についても十分考慮する必要があるか。対応にしても、よりスピード感を持って対応して欲しい。

答 デジタル通信の整備等一刻も早い対応の検討

町長 現在、1本署2分署の消防救急体制ということで、山間部においては時間を要する地域と認識している。しかしながら消防活動では初期消火、救急活動では一刻も早い搬送が重要と考えている。初期消火では各地区に小型動力ポンプを設置し、救急要請については119番入電時に最寄りの救急車を出動させるとともに、待つ間も通信員が口頭で指導するなど対応している。また、奥能登広域圏では28年度のデジタル通信に向けて整備中であり、通信網の整備によって1分でも早く現場に到着することが可能かと考えている。



國盛孝昭 議員

問 まちづくり基本方針

合併協定書にある庁舎については、新庁舎を建設し、新たに活性化を見出すべきではないか。

答 本庁支所検討委員会の意見を参考に作業を進めたい

町長 新庁舎を建設すべきという意見は承るが、合併後の財政事情により住民生活に直結する事業を優先しているが、まだ具体化していないのが現状である。昨年発足させた本庁支所検討委員会の意見を参考に、将来の庁舎の具体化に向けて作業を進めていきたい。

その他質問者

向峠 茂人 議員

『議会議案』

- 発委第1号 「原子力発電所の安全性確保とエネルギー政策の見直しを求める意見書の提出について」
- 発委第2号 「志賀原子力発電所にかかる防災地域拡大と避難路の確保を求める意見書の提出について」
- 発議第1号 「郵政サービスの維持・確保を求める意見書の提出について」
- 発議第2号 「石川県乳幼児医療費補助要綱の一部改正を求める意見書の提出について」
- 発議第3号 「環太平洋経済連携協定(TPP)交渉への正式参加を行わないことを求める意見書の提出について」

以上5件を議会議案として、3月16日に追加提出し、原案のとおり可決し関係機関に意見書を提出した。

『議会庁舎の在り方についての懇話会』を設置

4月17日、第1回の会合では、これまでの経緯や将来を見据えた意見が出た。

座長	鶴野議員
職務代理者	山岸議員
委員	金七議員 國盛議員 小路議員 河田議員 南議員 奥成議員 鍛冶谷議員



議案をチェック

市濱等議員

水道料金の値上げ幅を圧縮した影響と老朽管更新工事で、なぜ崎山地区が早いのか。三波街道の本管が先だと思うが。

宮田勝三議員

先の全員協議会の説明より人件費・経費等を節約し、カバール出来る金額とした。工事順序については、崎山地区は近年3回も連続して漏水事故が起きているためである。

大谷内義一議員

なぜ今水道料金を20%程度上げるのか。老朽管等の延長は、収支バランスは。また介護保険料の値上げについて説明を。

上下水道課長

漏水等により有収水量が減り実質21年度から赤字である。今後国庫補助金や起債が受けられなくなり企業経営に問題が生じる。突発事故や道路陥没等2次災害も懸念される。石綿セメント管、老

朽管で約40キロメートル、全て完了に10年は必要。

健康福祉課長

基準額の月額値上げ幅は基金を取り崩して200円程度とした。

宮田勝三議員

介護保険料の決定基準6段階の説明を。また、中学校の体育授業で、なぜ剣道なのか。また、新設される真脇温泉浴場の概要は。また管理運営は。

健康福祉課長

介護保険料の所得第1段階は、生活保護受給者及び世帯全員が住民税非課税の方で基準額の0.5。第2段階は世帯全員が住民税非課税で前年の合計所得金額と課税年金収入額が80万円以下の方で基準額の0.5。第3段階は世帯全員が住民税非課税で第2段階に該当しない方で基準額の0.75。第4段階は世帯の誰かに課税されているが、本人は住民税非課

税の方で基準額。第5段階は本人が住民税課税で前年の合計所得金額が190万円未満の方で基準額の1.25。第6段階は本人が住民税課税で前年の合計所得金額が190万円以上の方で基準額の1.5と設定されている。

教育委員会事務局長

少子化の影響で男女一緒に授業をしていること、柔道は怪我の率が高いこと、施設の問題、道着の個人負担など総合的に考慮し学校側と相談した結果、剣道に取組むとした。

ふるさと振興課長

真脇温泉浴場は老朽化しており利便性等を加味しポールポールの近くに簡易浴場を計画している。管理は宿泊施設と温泉に今後統一も考えている。

向峠茂人議員

地域産業育成活性化支援助成金、物産販売促進事業、消防庁舎基本策定

業務について説明を。

ふるさと振興課長

地域資源を活かし独自の高いアイデア・ビジネスを支援し、産業の育成、地域の活性化を目指す事業。特産品の販路開拓を対外的に支援する事業である。

総務課長

3消防庁舎の耐震の調査である。

山岸昭夫議員

都市環境整備事業について補助金はどれくらい入っているのか。

建設課長

能登線の廃止に伴う宇出津駅跡地を再整備する事業で、22年度から取組んでいる。まちづくり交付金が事業費の40%。残りの財源は過疎債と一般財源である。

椿原安弘議員

心身障害者医療の助成について説明を。世界農業遺産活用実行委員会の組織と町役場の担当課は。また、梅ノ木団地建替の全体計画は。

健康福祉課長

町は身体障害者手帳3

級、療育手帳B1の通院、B2の入院・通院を助成対象に追加。負担額の2分の1を助成する。

農林水産課長

知事が会長、4市4町の首長、関係団体で組織。シンポジウムの開催を予定している。今後農林水産課・企画財政課・教育委員会・ふるさと振興課の4課で進める。

建設課長

全体で21戸建設する。23年度は取り付け道路、上下水道の整備を行った。他の地区と隔年で完成は32年を目標にしている。

志幸松栄議員

学校の耐震改修事業は。成人式典の対応は。24年度予算の評価は。

教育委員会事務局長

改修事業は松波小と柳田中の外壁改修工事。成人式の写真の送付不手際には陳謝し対応している。今後は注意して対応する。

教育長

祝辞は地元県議にもお願いする方向で検討する。

評価は町の皆さんの判断であると考えている。

鍛冶谷眞一議員

雇用促進緊急助成金の説明を。また、緊急雇用創出事業の内容は。

ふるさと振興課長

Uターン者、新規学卒者を雇用した企業に給与の一部を助成して定住促進と新規雇用を促す。緊急雇用は新たに震災等緊急対応も含め14事業。

鶴野幸一郎議員

前年と比較して人件費の差額が大きい内容は。また、震災のガレキを当町に受け入れることは出来ないのか。

総務課長

退職手当で組合の負担金や職員の減により人件費が減った。

環境対策課長

旧内浦クリーンセンターの再稼動には経費で10億円以上は必要、3年以上はかかる。風評被害も懸念され町民の理解が得られるのか分らない。埋立処分場は残容量が少なく大変厳しい。

総務

委員会

向峠茂人（委員長）

國盛孝昭（副委員長）

椿原安弘・奥成壮三郎

宮田勝三・鍛冶谷眞一

3月6日に委員会を開催し、付託された議案22件を審議、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●ソフト事業にも過疎債
問 能登高等学校支援事業の1200万円の財源のうち840万円は過疎債なのか。

答 これまでは、箱物の建設費を主として過疎債を充てていたが、平成22年度からソフト事業にも充てることが可能となった。これにより本来なら一般財源で賄うしかなかった歳出が交付税算入70%の有利な起債を充てること、実質30%の一般財源の持ち出しでよく

なり、他のソフト事業にも充てている。

●四明ヶ丘集会所整備事業

問 総額3564万円の四明ヶ丘集会所整備事業のうち、165㎡に対して3234万円を予算計上しているが、坪当たり約65万円になり単価が高すぎる。

答 今年計上した赤崎コミュニティの、坪当たり64万円から65万円を参考に計上した。

●自主防災組織育成事業

問 事業補助金として320万円を計上しているが、団体数はいくつかわかると、もつと増やすべきだと思いが対策は。

答 内浦に2団体、柳田に1団体の3団体で、年度初めの区長会の役員会や連合会で説明を行いたい。

教育民生

委員会

南 正晴（委員長）

市濱 等（副委員長）

金七祐太郎・久田良平

新平悠紀夫・大谷内義一

行委員会です場所や種目の選定、交通手段等を話し合っていく。

●鶴川中と能都中の統合

問 両校の統合説明会は、26年度統合を目標に、24年度からバス時間などをすべく話し合いのうえ準備を進めていきたい。

●病院事業会計の医療費未収金について

問 医療費未収金で、払う人払わない人との不公平感がでないよう内容証明を出すとか時効にならないよう周知徹底せよ。

答 23年度の未収金は約300万円、総額で約2000万円弱。催告状を年に数回出し、班を編成しての戸別訪問も実施。電話での催促も行っている。

●請願第1号「石川県議会での請願採択を受けて、石川県乳幼児医療費補助要綱の一部改正を求める意見書の提出を求める請願」を採択。

24年度の実

産業建設

委員会

酒元法子（委員長）

小路政敏（副委員長）

河田信彰・志幸松栄

山岸昭夫・鶴野幸一郎

答 利用者の意見や維持管理等を総合的に勘案し、宿泊施設側に設置するのが良いと考えている。

●道路改修

問 こども未来センター前の通りの改修計画はあるのか。

答 路線内にある上鍛冶1号橋の改修を予定。

●水洗便所等改造資金助成金

問 水洗便所等改造資金助成金とは。

答 下水道接続に伴う助成制度で、非課税世帯で10万円、課税世帯で3万円を上限として助成する。

●水道料金値上げ

不況の時期に値上げすべきではない。水道使用料の多い企業に減免の措置が必要との意見があった。

●請願第2号「TPP交渉に関する意見書」を採択。

1月から3月の主な議会活動

1月2日	知事新年互礼会
1月7日	出初式
1月8日	能登町成人式
1月10日	交通安全祈願祭
1月17日	流山市姉妹都市盟約締結調印式
1月18日	奥能登広域圏議会臨時会
1月20日	議会全員協議会・総務常任委員会
1月21日	中瀬晴夫氏黄綬褒章受賞祝賀会
1月29日	山崎元英氏叙勲祝賀会 近藤和也衆議院議員新年互礼会
1月31日	流山市正副議長表敬訪問
2月2日	町会区長会連合会議会懇談会
2月5日	北村茂男衆議院議員国政報告会
2月9日	宮崎県小林市表敬訪問
2月11日	岡田直樹参議院議員国政報告会
2月13日	議会運営委員会
2月15日	町スポーツ表彰式 奥能登クリーン組合議会定例会
2月22日	教育民生常任委員会
2月23日	石川北部RDF組合議会
2月24日	平成24年度当初予算概要説明会 立志の集い
2月26日	町生涯学習振興大会
2月28日	のと鉄道運営助成基金事務組合議会定例会
2月29日	議員全員協議会
3月1日	議員全員協議会 奥能登広域圏組合議会定例会
3月5日	議会定例会（初日）
3月6日	各常任委員会
3月12日	議会定例会（一般質問）
3月14日	議会定例会（一般質問）
3月16日	議会定例会（最終日）
3月24日	真脇小学校閉校記念式典
3月24日	石川県ドクターヘリ研究会セミナー
3月24日	※小学校・中学校・能登高校卒業式



町会区長会連合会の方々の議会傍聴



流山市正副議長表敬訪問

次の定例会は6月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

厳しく長い冬も終わりを告げ、当地も桜の便りと共に春が訪れました。

さて、約140億円の新年度一般会計予算が上程され可決しました。配食サービス事業、いきいき介護予防教室など今後の老人福祉事業に力点を置いた予算配分であります。

本町は少子高齢化の現実に対応するため地域包括ケア体制の充実に努めなければなりません。

町民と共に歩む議会でありたいと思います。

広報編集特別委員会

委員 山岸昭夫

広報編集特別委員会

委員 長國盛 孝昭

副委員長 金七祐太郎

委員 市濱 等

小路 政敏

山岸 昭夫

鍛冶谷眞一